

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2021年 1～3月期の景況 / 2021年 4～6月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、先行きが不透明な状態である。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2021年1～3月期の実績と2021年4～6月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から3.6%の回復となった。業種別では、製造業は▲64.7%へ▲36.8%へと大幅に回復、小売業は▲31.3%から▲16.7%への回復がみられた。また、前回、大幅な回復を見せた卸売業は▲10.5%から▲15.0%へ、建設業は▲16.7%から▲17.9%へと僅かながら減少し、サービス業は▲45.5%から▲56.0%へと悪化した。

来期の新規設備投資については、今期より7.1%も減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業は19期連続で「従業員の確保難」が1位となった。なお、製造業では6期連続で「需要の停滞」が1位となり、サービス業では3期連続で「ニーズの変化」が1位となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

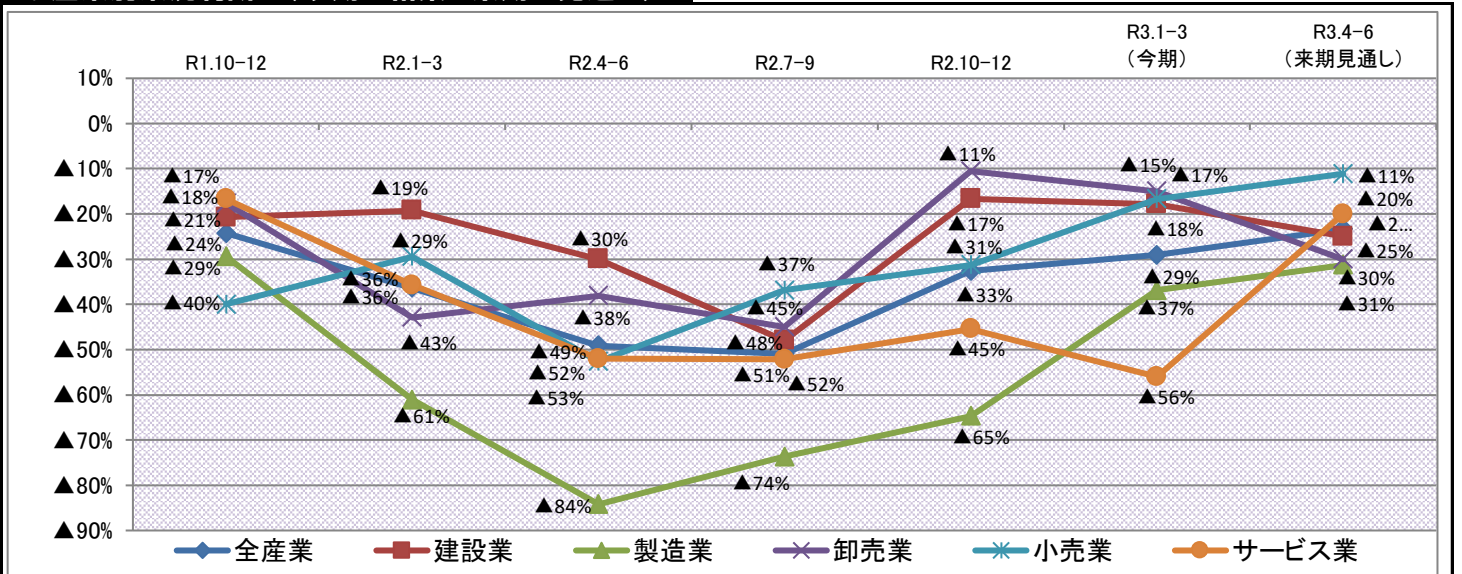
DATA

- 調査期間: 2021年3月11日～3月23日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数: 113社(83.7%)

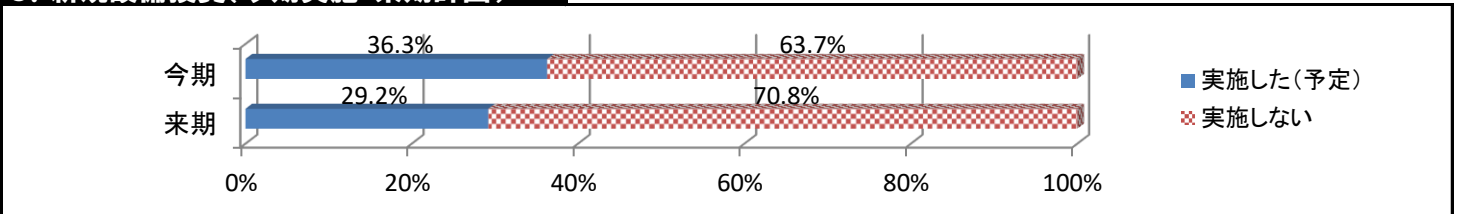
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲29.1%	3.56%	▲31.3%	11.17%	▲12.5%	8.71%	▲20.9%	14.14%	17.59%	29.84%
建設業	▲17.9%	▲1.2%	▲37.9%	▲21.3%	▲13.8%	▲9.6%	▲3.6%	13.10%	17.24%	38.07%
製造業	▲36.8%	27.86%	▲36.8%	39.63%	▲10.5%	36.53%	▲55.6%	25.69%	26.32%	38.08%
卸売業	▲15.0%	▲4.5%	▲10.0%	26.84%	5.00%	15.53%	▲10.0%	5.79%	30.00%	30.00%
小売業	▲16.7%	14.6%	▲15.8%	25.39%	0.00%	11.76%	5.26%	24.01%	26.67%	32.92%
サービス業	▲56.0%	▲10.5%	▲48.0%	2.00%	▲36.0%	0.36%	▲44.0%	6.00%	▲4.0%	14.18%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	20.5%	需要の停滞	23.6%	仕入単価の上昇	17.3%	需要の停滞	17.3%	利用者ニーズの変化への対応	22.2%
2位	熟練技術者の確保難	20.5%	製品ニーズの変化への対応	10.9%	従業員の確保難	15.4%	消費者ニーズの変化への対応	15.4%	需要の停滞	20.6%
3位	官公需要の停滞	15.7%	生産設備の不足・老朽化	10.9%	販売単価の低下・上昇難	13.5%	従業員の確保難	11.5%	従業員の確保難	9.5%
4位	下請業者の確保難	12.0%	従業員の確保難	10.9%	需要の停滞	11.5%	人件費の増加	9.6%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	7.9%